

理工学 メディアセンター ニュース



Information and Media Center
for Science and Technology
Newsletter

特集

研究室始動！春のセミナー受付開始

メディアセンターでは、これから研究を始める学生の方や新しく慶應義塾にいらした方を対象に以下のセミナーを実施します。ぜひご参加の上、研究にご活用ください。

【申込方法・詳細】

理工学メディアセンターWEBサイト「サービス」メニューの「セミナーを申し込む」から、またはレファレンスデスク(平日8:45-17:00)でお申込みください。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/service/seminar.html>

今月の1枚：

図書館のある街に住もう



- ①もっと楽しむ図書館マスターガイド
- ②Tokyo図書館日和
- ③Tokyo図書館紀行

3月といえば卒業シーズンですね。これを機に新たな環境で新生活をスタートさせる方も多いのではないのでしょうか。

住むなら便利な街に、と誰しもが考えると思いますが、素敵な図書館のある街に住んでみませんか。博物館、美術館に併設しているアートな図書館。歴史を感じるクラシックで優雅なたたずまいの図書館。個性あふれる地域密着型のコミュニケーションが生まれる図書館。なんとなく入りやすく居心地が良くついでに何時間も過ごしてしまう、そんなお気に入りの図書館をみなさんも見つけてみませんか？

Contents

春のセミナー受付開始 P.1

連載：悩み多き電子ジャーナル P.2

WEBサイトが新しくなりました P.4

オープンライブラリー P.4

新しい電子ブックの紹介 P.4

3/3～5/29

文献探索セミナー

研究内容や希望のテーマに合わせて文献の探し方とデータベースの検索方法を実習形式でご案内します(60～90分)。Web of Science, Scopus, IEEE Explore, PubMed, JDreamⅢなど(平日9:00-17:00の時間帯/3名以上で申込み)

4/22(水)

SciFinder検索セミナー

化学を中心とする医薬・生化学・物理・工学等の科学情報データベースSciFinderの実習形式セミナーです。構造図・キーワード・物質名などから、論文・特許・化学物質情報(物性値含む)・反応情報を検索できます。講師：化学情報協会
時間：初級編 13:00～14:30, 応用編 14:45～15:45

5/13(水)ほか

Mendeley活用セミナー

文献管理&引用作成ツールのMendeleyの使い方を実習形式でご案内します。論文PDFやデータベースから文献データを取り込み、引用文献リストを作成できます。
(要PC持参)
日時：5/13(水)16:30～18:00 講師：エルゼビア・ジャパン

上記に参加できない方向けに、以下の日時にも実施します(各60分)
日時：5/15(金)13:30～, 5/20(水)10:30～, 5/21(木)15:00～
講師：理工学メディアセンターレファレンス担当

5/20(水)

Reaxys検索セミナー

化学反応情報と実測物性値を収録した化合物・反応データベースReaxysの実習形式セミナーです。時間：16:30～18:00 講師：エルゼビア・ジャパン

【お問合せ】

理工学メディアセンター1階レファレンスデスク 平日8:45-17:00

電話：045-566-1477 内線：40307 riko-ref@lib.keio.ac.jp

3. なんとも複雑な電子ジャーナル契約

電子ジャーナル（以下EJ）は図書館に来館しなくても利用でき便利ですよ。でも提供する図書館側から見ると契約事項、価格体系が複雑に設定されていて、毎年の契約更新時は確認するだけでも多くの時間、労力が必要で、図書館の頭痛の種となっています。

大量ダウンロード、営利目的利用・第三者への無断転送が契約で禁止されていることは、皆さんが利用する際に開くウィンドーにも書かれていますのでご存知の方も多いでしょう。

ご注意
NOTICE

電子ジャーナル・電子ブック・データベースの不正利用は、塾全体の不利益となります。
Unauthorized use of electronic journals, electronic books and databases adversely affects the entire Keio community.

以下の注意事項を必ずお読みの上ご利用ください。

<ul style="list-style-type: none"> ● 利用は慶應義塾の構成員（学生および教職員）個人に限られます。 ● 学習/研究を目的とした利用に限られます。 ● 雑誌や図書1冊全てにわたるような大量のダウンロード、プログラムを使って自動的に大量のデータを取得することは禁止されています。 ● 営利/非営利に関わらず、データ及びその複製またはそれが復元可能なデータを、許可なく刊行する行為、第三者に対して許可なく送信、配布、売買する行為（著作権、知的財産権の侵害）は禁止されています。 <p>上記事項が守られない場合、提供元から慶應義塾全体の利用が停止されたり、法的措置をとられたいすることがあります。</p> <p><small>* 電子ジャーナル・電子ブック及びデータベース本体の著作権は各々の著作者またはサービスの提供者に帰属し、その権利は著作権法および国際条約によって保護されています。詳細は出版社によって異なりますので、各出版社のホームページでご確認いただくか（"Terms & Conditions"などと表記）、レファレンススタッフまでお尋ねください。</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Use of databases, electronic journals and books is limited to Keio University students, faculty and staff. ● Use of databases, electronic journals and books must be for academic or research purposes only. ● Downloads of the content of an entire issue of a journal or a book at one time or obtain substantial portion of data using automatic program are prohibited. ● Transmission to a third party, distribution, sale, or publication of data, reproductions thereof, or reproducible versions thereof without prior permission, as well as reproduction, translation, adaptation, revision, sale or other use of data in violation of copyright or intellectual property law, are expressly prohibited. <p>If any of the above terms are violated, the provider may suspend access by the entire University to the journal or the book, and legal action may be taken against the offender.</p>
---	--

契約金額は、教員・学生数や博士課程の有無、利用するサイト数（キャンパス数）、同時アクセス数、ダウンロード数等で設定されます。慶應義塾は学生数が多く、博士課程もあり、キャンパスも複数あるため、契約価格が高く設定されがちですので、価格を押さえるための交渉も行います。また、紙の雑誌を買うとEJが無料で読める契約や、最新号あるいは最新数年分は読めないけれどバックナンバーは読める「アグリゲータ」と呼ばれる企業との契約もあります。

図書館ではこれまで値上り対抗策として、まずEJと紙の両方を購読しているものはEJだけの購読に変更しました。次に同時アクセス数やアクセスできるキャンパス数を減らしました。それでも払えない場合はEJの購読中止を検討することになります。

購読をやめた場合のEJへのアクセスも契約書に規定されており、購読していた期間のみ利用可となることが多いですが、前回紹介したパッケージ契約の場合では、非購読誌へは一切アクセスができなくなります。またアグリゲータとの契約では全てのEJにアクセスできなくなります。

契約時に利用可能なタイトルリストが出版社から提供され、図書館はどのEJを購読しているかを管理していますが、KOSMOSや「電子ジャーナルリスト」では、自分が利用しているEJが購読誌かどうか知ることができません。使う側からみるとEJの契約はブラックボックスと言って良いでしょう。次回はEJへのアクセスをどのような仕組みで提供しているかをご紹介します。

用語解説

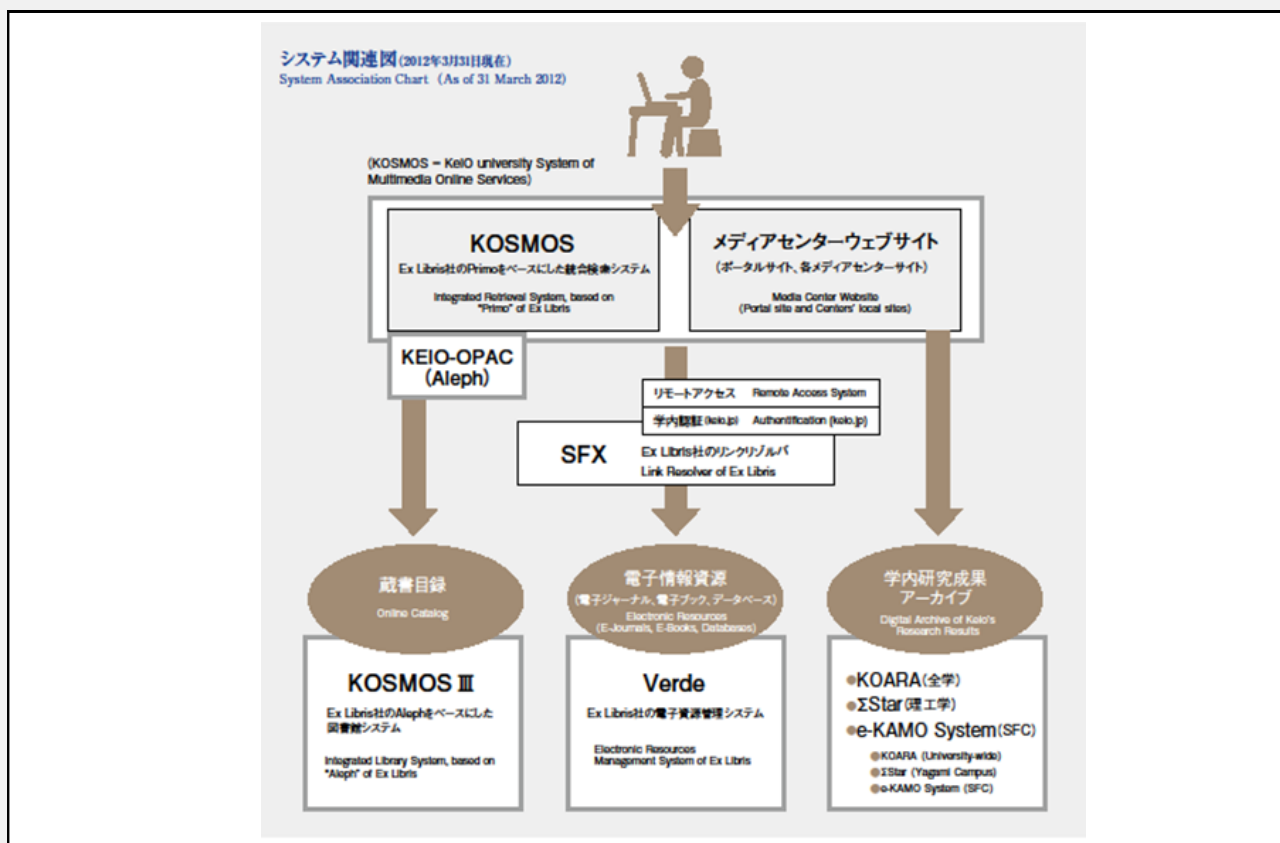
アグリゲータ (Aggregator)

複数の出版社の電子ジャーナルを、分野ごとなどにまとめたセットにして、販売・提供する業者のこと。アグリゲータの提供する電子ジャーナルは、タイトルによっては、刊行後の一定期間（最新6か月や1年など）にアクセスできない（エンバゴ）という条件付のものもあります。また契約をやめた場合は全ての年代・タイトルにアクセスできなくなるのが一般的です。EBSCO、ProQuest、LexisNexisなどが代表的なアグリゲータです。

4. 電子ジャーナルへのアクセスを確保せよ

図書館に寄せられる苦情・質問（！？）の多くが「特定のEJにアクセスできない」というものです。2014年で73,000タイトルもあるEJ、人の手でアクセスを確認し、KOSMOSや「電子ジャーナルリスト」を作ることはほぼ不可能です。図書館では下図のように電子資源管理システムやリンクリゾルバを導入し、契約しているEJにスムーズにアクセスできるように管理・運用しています。

EJにアクセスするURL等の基本情報は、リンクリゾルバのナレッジベース（Knowledge Base 以下KB）で提供されますが、慶應義塾の契約に合わせて利用期間等を修正する作業や、KOSMOSでも検索できるようにデータを流し込むと言った作業は定期的に行わなくてはなりません。またkeio.jpの認証システムと連携したリモートアクセスも実現しています。EJへのアクセスを確保するためのシステムの管理・運用にかかるコストも馬鹿になりません。



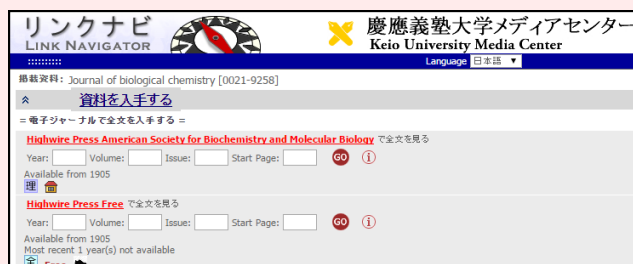
EJにアクセスできなくなるのは、契約の変更、KBの不備、ネットワークや慶應義塾側のシステムのトラブル、そして利用者の利用環境等原因はさまざまです。

契約更新直後の1月～3月には、出版社側の設定ミスや購読契約終了もあり、アクセスできないというクレームが特に多くなります。年度途中でも学会が出版社を変更したために、閲覧するサイトが変わった、あるいは新たな契約をしないと読めないという事態も発生します。図書館の担当者は問合せが来ると、契約の確認、出版社へのクレーム、KBの更新等を行います。この作業は時間と神経を使う作業です。購読しているEJを契約に沿って利用してもらうためのアクセスを確保する作業は、目には見えませんが、とても重要な仕事なのです。また予算に余裕のある時には、バックナンバーへの恒久アクセス権を買い切る契約を行う等、EJへのアクセス環境を悪化させないように努力してきています。

用語解説

リンクリゾルバ

データベースの検索結果や、図書館の蔵書検索システム(慶應義塾ではKOSMOS)の検索結果から、電子ジャーナルの本文や各種サービスツールへのリンク（ナビゲーション）を提供するシステム。慶應義塾大学では右のような中間画面が表示されます。



メディアセンタークイズ

287

何の数字でしょう？

ヒント:あるイベントの参加人数です

答えは紙面のどこかに・・・

S-Circleスタッフコラム 最終回「コミュカを鍛える」



ここ数年、コミュニケーション能力の重要性が高まっているようです。研究室でのディスカッション、就職面接等、学生のうちからコミュカを発揮することが求められます。私自身も口下手な理工学研究科の学生の一人ですが、コミュカを鍛えるには、様々な人と交流する場に身を置くことが大切だと感じています。

私達S-Circleはこれまで、「図書館に新しいコミュニケーションの場を創生する」という目的のもと、学習相談や各種イベントの開催等の活動をしてきました。学生同士のやりとりだけでなく、教授陣や、留学生を巻き込んで、学内の多様な交流場を提供できたのではないかなと思います。

寂しいもので、S-Circleの活動も今年で最後になります。今まで活動に関わってくれた方々、本当にありがとうございました。

S-Circle 黒川祥悟
(管理工学科・修士2年)



発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
TEL: 045-566-1477
FAX: 045-566-1486
E-mail: riko-info@lib.keio.ac.jp
Web : <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>
Twitter : <https://twitter.com/scitechmkeio>

電子版は、ΣStarからご利用ください。

お知らせ

理工学メディアセンターWEBサイトが新しくなりました (2/20)

理工学メディアセンターWEBサイト(日本語版)は、「より分かりやすく」「より使いやすい」サイトを目指し、デザインを一新いたしました。新しいサイトはスマートフォンからも見やすいデザインでご利用いただけます。



注意点

・リニューアルに伴い、一部ページはURLが変更となりました。お気に入りに登録していただいたページが表示されなくなった場合は、お手数ですがトップページから再度アクセスして該当ページのURLの再登録をお願いします。

・ブラウザについて

Internet Explorer9.0をご利用の場合は互換表示は「OFF」にしてご覧ください。

英語版は2015年3月23日(月)にリニューアル予定です。

今後も皆様に使いやすいサイトを目指して内容を充実してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Open Library

高校生への理工学メディアセンター公開

義塾の理工学部を目指す高校生・受験生を対象に、理工学メディアセンターを下記の通り公開します。学習の場を提供するとともに、大学図書館の雰囲気や大学教育の一端に触れるチャンスを提供するものです。

利用者の皆様には主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。また、お知り合いの方にもご紹介ください。

記

【期間】2015年3月2日(月) - 4月4日(土)

【開館時間】

平日 8:45-21:30 / 土曜 8:45-20:00
日祝日は休館です。

【対象者】

高校生以上の慶應義塾大学受験希望者
(同伴保護者の見学も可)

【サービス】

閲覧室での学習や読書、図書・雑誌等の利用、館内資料の複写サービス(有料)

※詳細は、理工学メディアセンターWEBサイトのニュースをご覧ください。

コレクション

新しい電子ブックのご紹介

Kindleなどの普及により電子ブックはとても身近なものになってきましたが、日本の学術書についてはまだまだ刊行数は多くありません。

そんな中、教科書・参考書に指定されている図書や、利用の多い図書の電子版が少しずつ刊行されてきましたので、購入いたしました。

- ・足立修一著『MATLABによる制御工学』(物理情報「制御工学同演習」教科書)
 - ・藤岡知夫著『光・量子エレクトロニクス』(電子「光・量子エレクトロニクス」教科書)
 - ・日本表面科学会編『透過型電子顕微鏡』(応用化学「分析化学2」参考書)
 - ・加藤豊著『ORの基礎：AHPから最適化まで』(管理「オペレーションズ・リサーチ第4」参考書)
- など 計55冊

電子ブックは、PC等があれば研究室や自宅からもアクセスできます。近々KOSMOSで検索できるようになりますので、冊子体と合わせてどうぞご利用ください。

理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。(理工学メディアセンターWEBサイトのバナーからΣStarに移動できます)



メールマガジンの登録受付中!

新サービス、データベースや電子ジャーナル、各種セミナーやイベントなどのお知らせをお届けします。

こちらのQRコードか、理工学メディアセンターWEBサイトの「申し込む」メニューよりお申し込み下さい。

(対象:慶應義塾大学在籍者)



メディアセンタークイズ

答え:

2014年度の文献探索セミナーへの参加者数です。毎年50以上の研究室が参加しています。新学年を迎える皆様からのお申込み、お待ちしております!